

講義名：世界市民－東アジアの近現代史 02<秋> 担当教員名：三宅 亨		ナンバリングコード：0	
研究室：聖アンデレ館7階709号室		オフィスアワー：授業前後	メールアドレス：toru@andrew.ac.jp
授業形態			
講義・演習概要			
この講義では、明治維新以後の東アジア(日本・中国・台湾・朝鮮半島)の歴史をグローバルな視点から扱う。太平洋戦争が終わって70年経た今日、戦争を知らない世代が大多数を占めるようになってきた。日本と近隣諸国との関係が必ずしも良好とはいえない今こそ、もう一度過去を振り返って、現代の諸問題の根源を東アジアの近現代史のなかに求めることによって、近隣周辺国と関係改善と協力関係の構築のために何をすべきか、何ができるかを考えてみたい。 秋学期はアジア・太平洋戦争終結から現代を扱う。 ただ漫然と講義を「聴く」のではなく、「考える」という態度で臨んでほしい。			
学習目標			
グローバル化する現代社会の中で、明日に向かって進むうえで、日本だけでなく周辺諸国・地域の昨日(過去)を知ることが大切である。過去約150年間の東アジアの歴史を知り、理解し、未来を考えること、これがこの講義の最低限の目標である。			
講義・演習計画			
【第1回】 1. 講義の概要 2. 受講にあたっての注意 3. 「異文化を理解する」・「歴史を知る」 毎回、資料を配布するが、欠席した場合に後で配布することはない。			
【第2回】 「二つの中国」			
【第3回】 分断国家と朝鮮戦争			
【第4回】 戦後日本の改革			
【第5回】 戦後の日本経済(1)			
【第6回】 戦後の日本経済(2)			
【第7回】 中国現代史			
【第8回】 日中関係			
【第9回】 台湾現代史と日台関係			
【第10回】 韓国現代史			
【第11回】 戦後の日韓関係			
【第12回】 北朝鮮史と日朝関係			
【第13回】 現代沖縄史と米軍基地問題			
【第14回】 現在の東アジアの動向			
【第15回】 現代の諸課題			
成績評価の方法			
試験	70%	レポート	出席 30%
コメント	毎回講義の終わりに課題を与え、その場で解答を提出してもらう。ただ出席するだけでは、評価(出席点)はつかないので注意すること。 正当な理由なくして4回以上欠席した場合、学期末試験を受けることはできない。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	プリント配布	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
授業中に、その都度指示する。			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)			
あらかじめ配布した資料を熟読しておく。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用)			